

MISERY

ミズリー

Words & Music by John Lennon and Paul McCartney

イントロ出だしのタイミングが少し難しい曲だ。譜面では、最初の2小節が $\frac{6}{8}$ 拍子、そして次に $\frac{4}{4}$ 拍子で2小節、この合計4小節間は、フリー・テンポ気味に歌っている。ここは、リズムを気にせずに、ボーカルが歌いやすいように歌って、バックはそれに合わせるようにするとよいだろう。5小節目のアコースティック・ギターのコード・ストロークが始まる所から、リズムがスタートしていると考えよう。この曲では、時々、ピアノが印象的なメロディを弾いており、エコー処理のなされた美しいサウンドが聴かれる。ほんの時々弾くピアノのために、プレイヤーを1人ふやすことは大変だが、この音はぜひ入れてもらいたい。ギターは、アコースティックによるコード・ストローク中心のプレイだが、エレクトリック・ギターによる、ロックン・ロール・スタイルのリ

フも弾かれている。しかしこの曲は、あまりロックン・ロール調になりすぎない方がよいだろう。その辺は、2本のギターの音量の調節でカバーしよう。エレクトリック・ギターが目立ちすぎないようにすることだ。ベースは、1拍目と3拍目を強調した2ビートのパターンを演奏している。これは非常にシンプルなパターンなので問題はないだろう。ドラムもシンプルに8ビートのパターンだ。クローズド・ハイハットを8つ組み、2、4拍目にスネアという基本的なパターンを淡々と叩いている。このスネアは、非常に軽く叩くのがポイントだ。この曲は、ジョンとポール、2人が歌っており、ハーモニーの部分以外のところは、ユニゾンで同じメロディを歌っている。

10

Intro F

VOCAL

The world is treating me bad Mi - se - ry

OTHERS (Piano)

GUITAR I

GUITAR II

BASS

DRUMS

[A] C F C F

I'm the kind of guy — who ne - ver used to cry — The world is treat-in' me

D C Am [A] C F

bad — mi - se - ry I've (1) lost her now for sure — I
(2.3) Send her back to me — Cause

C *F* *G* *C* *to C*

won't see her no more — It's gon - na be a drug — mi - se - ry
 eve - ry - one can see — With - out her I will be — in mi - se - ry

10 8 8 12 10 10 12 10 8 12 12 14 12 12 14 12 5 5 7 5 5 7 5

1 2 3 1 2 3 3 4 5 x 1 2 3

12

B Am *C*

I'll re - mem - ber all the lit - tle things we've done

5 5 7 5 5 5 7 5

1 2 3 1 2 3

Am G7

Can't she see she'll al-ways be the on-ly one on-ly one
 She'll re-mem-ber and She'll miss Her lone-ly one lone-ly one

TAB: 1 2 3 1 2 3

D.S.

Coda Am C Am C

Oh, oh in mi-se-ry Woe my mi-se-ry La la la la la

TAB: 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

Fade Out